

10. 現地調査関連資料<セネガル>

調査団日程

	日付	曜日	時間	調査内容	同行者
1	11月18日	日		調査団日本発(パリ経由)	
2	11月19日	月	21:00	調査団到着	平野調整員、ローカルスタッフ
3	11月20日	火	9:00	森林局長協議	平野調整員、藤村専門家
			10:00	天谷専門家インタビュー	
			11:00	大使館表敬	
			12:00	事務所での打ち合わせ	全調整員
			14:00	事務所での打ち合わせ&コンサルタント	
			15:00	ダカール出発	
			18:30	カオラック到着	
4	11月21日	水	8:30	カオラック出発	阪口企画調査員・大出シニア
			12:30	タンバクンダ州知事協議	
			15:00	タンバクンダ州議会議長協議	
5	11月22日	木	9:00	タンバクンダ州医療事務所表敬	阪口企画調査員・大出シニア
			12:00	グディリ医療センター視察・協議	
6	11月23日	金	8:30	グディリ医療センター協議・患者インタビュー	阪口企画調査員・大出シニア
			12:30	グディリ郡知事表敬	
			15:00	グディリ村女性グループ FGI	
			16:30	グディリ村若手男性グループ FGI	
7	11月24日	土	9:00	ドゥグ診療所視察	大出シニア
			11:30	パニ・イスラエル診療所視察	
8	11月25日	日	8:00	タンバクンダ出発	大出シニア
			16:00	ティエス到着 団内・調整員協議	
9	11月26日	月	8:30	調査団内打ち合わせ	平野調整員、白石シニア
			10:00	クールムッサ郡庁	
			11:00	タワフォール村視察	
			15:00	ティエス州水森林局長	
			17:00	ジャハオ苗畑視察	
10	11月27日	火	8:30	調査団内打ち合わせ	白石シニア
			10:00	ティエナバ郡知事	
			11:30	クールデンバンゴヤ村視察	
			15:00	ンゴメン村視察	
11	11月28日	水	8:00	調査団内打ち合わせ	白石シニア
			9:00	ンドコメン村視察	
			11:30	クールマターフォール村視察	
			17:00	バンガジャ村視察	
12	11月29日	木	9:00	保健予防省表敬/インタビュー	平野調整員
			10:00	公務雇用労働省表敬/インタビュー	
			11:00	JICA 事務所報告	所長、全調整員
			14:00	井上専門家インタビュー/大使館報告	
			15:00	現地コンサルタント中間報告	現地コンサルタント
			23:40	官原団員ダカール発	平野調整員
13	11月30日	金	9:00	調整員インタビュー	平野調整員
			10:30	12年1次隊中間報告会視察	平野調整員、坪内調整員
			12:00	近藤シニアインタビュー	
			14:30	保健人材開発促進プロジェクト(プロ技)専門家インタビュー	平野調整員
			15:30	近藤シニアインタビュー	平野調整員、坪内調整員
			23:40	駒澤団員ダカール発	平野調整員

主要面談者

セネガル側

公務雇用省技術協力局長
森林局局长
森林局次長
森林局造林保護部長
森林局砂丘植林プロジェクトリーダー
クールムッサ郡知事
ティエナバ郡知事
ティエス州水森林局長
ジャハオ苗畑管理者(元 C/P)
プット苗畑管理者(元 C/P)
ディエナバ苗畑管理者(元 C/P)
ジャハオ苗畑職員
Tawa Fall 村人
Keur Demba Ngoye 村人
Ngomene 村人
Ndoucoumane 村人
Keur Matar Fall 村人
Baghandji 村人

Papa Birama Thiam
Ndiawar Dieng
Amadou Noiayf
Papa Ndiaye
Samba Thiam
Amadou Bamba Sylla
Alioune Diop
Clement Diedhiou
Mansour Diop
Mamadou Dieme
Matar Sagna
Mbaye Diop

保健予防省保健局長
タンバクンダ州政府行政担当副知事
同開発担当副知事
タンバクンダ州議会主席副議長
タンバクンダ州議会事務局長
グディリ郡知事
同森林開発局長
グディリ郡村長
<グディリ医療センター>
所長(医師)
事務局長
麻酔士
看護師
臨床検査技師
助産婦
衛生士(予防接種担当)
視聴覚技師
保健委員会会長
同副会長
同監査役
入院患者(4名)
外来患者(2名)
グディリ村・女性グループ「開発」
グディリ村・「グディリ若手男性の会」

Mandiaye Loum
Alioun Badara Mbengue
Aliouae Diagne
KabineKABA Diakite
Youssoupha Diallo
Mamadou Diatta
Aliou Aidara
Tingiang Tadio

Fanding Badji
Amadou Niane
Abdonlanye Diop
Jean Francois Thaw
Cheukh Bouya
Aminata Bodian
Eil Hadji
Aamadou Gackou
Amadou Diarra
Cply Ndiaye
Samba guindo

日本側

<JICA フランス事務所>

所長
職員

辰見 石夫
梅本 真司

<日本大使館>

大使
次官
一等書記官

古屋 昭彦
飯沢 良隆
西内 和彦

<JICA セネガル事務所>

所長
広域企画調査員

黒川 恒男
阪口 佳代

JOCV 調整員
同上
同上
JOCV 医療調整員
高級クラーク

平野 友洋
石川 梨絵
坪内 君与
森 龍子
Idrissa Doucoure

個別専門家（青年・環境・衛生省／森林行政アドバイザー）

藤村 武

個別専門家（内務省農村開発局／村落開発アドバイザー）

井上 茂

プロ技「地域総合植林開発プロジェクト」専門家

天谷 一郎（元グディリ医療プロジェクトリーダー・シニア隊員）

プロ技「保健人材開発促進プロジェクト」専門家

清水 利恭

同上

田村 豊光

同上

長堀 智香子

<JOCV>

シニア隊員

大出 理恵

同上

白石 健治

同上

近藤 直

隊員

川筋 光洋

隊員

水口 亜紀

隊員

土沢 うらら

隊員

青山 弘美

隊員

平田 昌信

隊員

戸川 歎奈

同上

12年1次隊全員、他

<現地コンサルタント（GERAD）>

総括

Amadou Diop

研究員（グディリ担当）

Aminata Niang Diene

同（ティエス社会学担当）

Camara Cheikh Moussa

同（ティエス林業担当）

Ababacar Sy

通訳（グディリ担当）

Cousson Traore

通訳（ティエス担当）

Greg Tardi

現地調査事項（評価グリッド含む）

1. プロジェクト評価（評価グリッド）

(1) セネガル・緑の推進協力プロジェクト

	調査事項	主な調査対象	手法
有効性の検証	・プロジェクト目標達成度（定量的補足）	C/P 機関	H, D
	・成果の達成度（定量的補足）	農民グループ	A, FGI
上記に影響を与えた促進要因/阻害要因			
妥当性の検証	・政府の政策、優先順位との合致度	政府機関	H, D
	・C/P 機関のニーズとの合致度 ・計画のデザインについての妥当性 (チーム派遣の体制、技術の種類、投入の規模等)	C/P 機関	H, D
	・農民のニーズとの合致度	農民グループ	A, FGI
	・セ国の国別援助実施計画との整合性、支援の優先順位との整合性	JICA 事務所・大使館	H
インパクトの把握	・プロジェクトの実施により間接的・波及的效果はあったか 1. 上位目標の達成度 (全国の植栽面積の推移、住民の意識の変化、農村の環境の向上、農民の生計向上) 収入の増加 2. 予期しなかった正・負の波及効果 2-1 政策、法制度への影響 2-2 社会への影響 2-3 技術面での影響 2-4 ジェンダー、弱者の立場への影響 2-5 環境保護への影響	政府機関	H, D
	同上	C/P 機関	H, D
	上記のうち、特に 2-2 (地域社会への影響) と 2-4	農民グループ	A, FGI
自立発展性の把握	・政府の方針、予算措置	政府機関	H, D
	・組織体制 (職員数、予算) ・キャパシティービルディングの醸成 ・公営苗畑、果樹園、野菜園において、プロジェクト終了時と同様の技術を提供できているか ・公営苗畑において開発された果樹栽培技術の定着度 ・公営苗畑における野菜栽培技術の開発と普及状況 ・提供した機材の維持管理状況 ・終了時評価の提言 (苗木の有料化、土地管理の改善策) はその後、検討・実施されているか	C/P 機関	H, D
	・農村における、苗畑、アグロフォレストリー園、果樹園、野菜生産の実態 (農民グループの活動概況) (村落における植林数と活着率) (果樹の生産量) (野菜栽培技術の普及状況、村落における野菜生産量) (過去 10 年間における農民の生活レベルの推移)	農民グループ	A, FGI

H: ヒアリング、A: アンケート、FGI: フォーカスグループインタビュー、D: データ収集

A: アンケート内容は別紙参照

(2) セネガル・グディリ医療プロジェクト

	調査事項	主な調査対象	手法
有効性の検証	・プロジェクト目標達成度 (定性的補足) (医療者の医療技術、医療サービスの向上の検証) (予防摂取率、各種疾病罹患率)	C/P 機関 ・タンハ・クンダ州 政府 ・グディリ医 療センター、 母子センタ ー、診療所)	H, D H, A, D
	・成果の達成度 (定量的補足) (住民の健康状態の過去 10 年間の推移) (住民の健康に関する意識・知識) (母子保健、家族計画の実践状況)	患者・母親	A, FGI
	上記に影響を与えた促進要因/阻害要因		
妥当性の検証	・政府の政策、優先順位との合致度	政府機関	H, D
	・C/P 機関のニーズとの合致度 ・計画のデザインについての妥当性 (チーム派遣の体制、技術の種類、投入の規模等)	C/P 機関	H, D
	・住民のニーズとの合致度	患者・母親	A, FGI
	・セ国の国別援助実施計画との整合性、支援の優先順位 との整合性	JICA 事務所・ 大使館	H
インパクトの把握	・プロジェクトの実施により間接的・波及的効果 はあったか 1. 上位目標の達成度 (妊産婦死亡率、乳幼児死亡率、50 歳の平均 妊娠回数、年代別平均体重・身長) ・収入の増加) 2. 予期しなかった正・負の波及効果 2-1 政策、法制度への影響 2-2 社会への影響 2-3 技術面での影響 2-4 ジェンダー、弱者の立場への影響 2-5 環境保護への影響	政府機関	H, D
	同上	C/P 機関	H, D
	上記のうち、特に 2-2 (地域社会への影響) と 2-4	患者・母親	A, FGI
自立発展性の把握	・政府の方針、予算措置	政府機関	H, D
	・組織体制 (職員数、予算、業務実績) ・キャパシティービルディングの醸成 ・州政府と医療センターの協議・連携の継続性 ・プロジェクト終了時と同様のサービスを提供でき ているか (予防接種、健康診断、村落における乳幼児健診、 学童検診、健康教育活動、医療スタッフ研修) ・医療センター検査室の独立採算の状況 ・プロジェクトで作成した教材等の活用状況 (医療圏マ ップ、ビデオ) ・提供した施設・機材の維持管理状況 (センターの検査 室・手術室・歯科室・発電機・ゴミ医焼却炉、視聴覚機 材、研修所、診療所等)	C/P 機関 ・タンハ・クンダ州 政府 ・グディリ医 療センター、 母子センタ ー、診療所)	H, A, D
	・各施設に対する医療サービスの利用状況とその満足度 ・各施設に対する要望	患者・母親	A, FGI

H: ヒアリング、A: アンケート、FGI: フォーカスグループインタビュー、D: データ収集

2. 現地支援体制（現地業務）の改善点

（シニア隊員 OB）

・現地支援体制の問題点と改善方法は何か（任地訓練、巡回指導、レポーティング、機材調達、予算確保・執行、安全対策、任国外研修旅行、事務処理、といった観点から）。

（JICA 事務所）

- ・現地受入体制と課題
- ・現地訓練の実施体制と課題。
- ・現場からみて、チーム派遣の募集、選考、派遣前訓練、派遣時期の課題。
- ・チーム派遣事業の事務局との連携に関する改善点。

3. プロジェクト形成の課題と改善点

（JICA 事務所）

- ・各対象案件に関して：どのようにプロジェクトが形成されたか。そのときの問題点、課題は？
- ・今後、プロジェクト形成に改善を求める点は？
- ・プロジェクト形成に JOCV が係わる可能性について
- ・他スキームとの連携の可能性について
- ・派遣前後の国内支援体制に関する要望

（政府関係機関、C/P 機関）

- ・各対象案件に関して：案件形成にどれくらい参画したか。今後、プロジェクト形成に改善を求める点は？
- ・他スキームとの連携の可能性について

4. 「相互理解」に関しての現地サイドへのインパクト・評価

（ボランティア受入機関、派遣隊員、C/P）

- ・当該プロジェクトでは、相互理解がなされたと思うか。それはなぜか。
- ・「相互理解」を促進する具体的な隊員の活動とは何か。
- ・他国のボランティアと比較して日本のボランティアはどんな特徴があるか。貢献度はどのように何の指標をもって評価されているか。

（受入機関、JICA 事務所）

- ・当該国において「相互理解」がなされるメリットは何か。それは将来的に何に役立つか。
- ・「相互理解」を促進する具体的な隊員の活動とは何か。

(JICA 事務所)

- ・「相互理解」を促進する具体的な隊員の活動とは何か
- ・「相互理解」に成功したと思われるチーム派遣は何で、それはどのようなところから推察されるのか。
- ・日本が実施する他の援助スキームと比較して、また個別派遣と比べて、チーム派遣事業は「相互理解」に効果的か。
- ・「プロジェクトの成果」を重視すべきか、それとも「人材育成」「相互理解」を重視すべきか。それはなぜか。

(関係者全員)

- ・「相互理解」を深めるために今後のチーム派遣事業は今後何を提供し、どうあるべきか。

4. 「人材育成」に関する現地サイドの評価

(JICA 事務所、他日本人関係者)

- ・ JOCV (個別/チーム派遣) は、ODA に係わる国際社会協力の人材の場となっているか？

緑の推進協カプロジェクト・フォーカス・グループ・インタビュー

FOCUS GROUP RESULTS 1	
Identification	
Village*: DIAMOYE GAYE	Number of concessions*: 20
Rural Community*: Fand ne	Number of households*: 21
Arrondissement*: Keur Moussa	Population*: 125
Infrastructures	
<ul style="list-style-type: none"> - 1 mosque - 1 SDE tap 	<ul style="list-style-type: none"> - 1 reading and writing class - 4 wells including 2 functional ones
Internal Organisations	Other intervening parties
<ul style="list-style-type: none"> - Women s association - Dahira (religious activities) 	<ul style="list-style-type: none"> - None
Types of soils	Vegetation
<ul style="list-style-type: none"> - Clayey-sandy soils (mainly) - Sandy soils 	<ul style="list-style-type: none"> - Depressed - <u>Species</u>*: Kad, Gouye, Ron, Ratt
Cultures	Cattle
<ul style="list-style-type: none"> - Manioc - Peanut - Millet - Ni b beans 	<p style="text-align: center;">Number*:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 10 bovines - 40 ovines - 35 caprines - 10 horses <p><u>Way of breeding</u>*:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Individual cattle

Awareness of PROVERS <ul style="list-style-type: none"> - Know the volunteers very well - Intervention from 1992 to 1998 - Before PROVERS there were no other intervening organizations - Only GPF activity (Women's Group activities) before PROVERS started : protective sacking - GPF (Women's Group activities) was officialised when the Japanese volunteers arrived 	
PROVERS Activities	
<ul style="list-style-type: none"> - Village nursery <ul style="list-style-type: none"> • 1994-1998: 1000 plants / year were produced • After 1998 the collective nursery was abandoned and some individual nurseries were created • Villagers grieve that since the Japanese left, they do not get seeds. - Reafforestation <ul style="list-style-type: none"> • Individual and collective orchards • Groves and linear planting around • Training was led in Fand ne • Success rate: about 30 % - Market gardening <ul style="list-style-type: none"> • Scouring of a well by the Japanese volunteers • Income: 50.000 F CFA average / year during 6 years • This money was used to finance the breeding of bovines that were later sold • Market gardening was not achieved last year; but they will do it again this year. - Market breeding <ul style="list-style-type: none"> • Three animals were bred, financed by the market gardening • This activity has been running for 6 years. 	
Impacts <ul style="list-style-type: none"> - They now have bovines, financed by the market gardening activity - Sensitization about trees. 	Relationship with the volunteers <ul style="list-style-type: none"> - Excellent relationship - Used to spend the nights in the village - Used to dance with the villagers
Communication between volunteers and villagers <ul style="list-style-type: none"> - Spoke a bit of wolof, not very well 	Needs <ul style="list-style-type: none"> - Market gardening - Water pumps or wells - Plantations - Reinforcement of the shop - Mill.

FOCUS GROUP RESULTS 2	
Identification	
Village*: NDOUCOUMANE	Number of concessions*: 116
Rural Community*: Touba Toul	Number of households*: 200
Arrondissement*: Thi naba	Population*: 1100 (including 2 hamlets)
Infrastructures	
<ul style="list-style-type: none"> - 1 water pump with a tap - 1 health post - 1 maternity - 1 school - telephone 	<ul style="list-style-type: none"> - mill - mosque - 5 wells (all fonctionnal) - 1 granary for seed-storage
Internal Organisation	Other intervening parties
<ul style="list-style-type: none"> - 1 women s association - 1 men s association - 1 acricultural cooperation 	<ul style="list-style-type: none"> - CARITAS*: banking, hydrosystem, threshing machine, telephone - ASRADEC*: health, reading and writing, sensitization - PROVERS*: reafforestation
Soils	Vegetation
<ul style="list-style-type: none"> - Sandy soil - Calyey-sandy soil - Khom 	<ul style="list-style-type: none"> - Kad (mainly) - A bit depressed, but the Kad parc is still quite dense
Cultures	Cattle
<ul style="list-style-type: none"> - Peanut - Millet 	<ul style="list-style-type: none"> - Manioc - Ni b beans <p>Importance*: ovines, caprines, bovines Way of breeding : Rotating fallow (yearly)</p>
Awareness of PROVERS	Relationship with the volunteers
<ul style="list-style-type: none"> - Villagers know well the different Japanese volunteers whocame to the village - Their actions were very usefull to the villagers 	<p><u>Quality of the relationship</u>*: The village welcomed an American Peace Corps volunteer before the Japanese . The relationship was very good with the Japanese, but the best was KONAVA , who slept and had his meals with the villagers . After him, the other Japanese were only visiting the village to see what he had achieved, but they did not stay</p>
PROVERS Activities	
<p>Reafforestation</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1st year*: over 1000 trees around the market gardening spot. 90 % rate of failure for the fruit-trees, due to the new technique • 2nd year*: no reafforestation because there were already a lot of trees • 3rd year*: 1400 plants on another field (prosopis, guava tres, mango trees) Failure rate*: 85 % • 4th year*: reafforestation of the second field <p>Nuresery</p> <ul style="list-style-type: none"> • Collective nuresery for mango trees only during the second year <p>Market gardening</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hydraulic means built by the volunteers (well, pools, fence) • 1st year*: 235.000 F CFA • 2nd year : drilling well out of order • 1st year income used for the opening of a shop that got stolen twice 	
Impacts	
<ul style="list-style-type: none"> - The village had become a provider of vegetables for the aera - Self consumption of the vegetables (improvement in the nutrition) - Since the volunteers left, they buy their vegetables at the Toub Toul market - The villagers rely too much on the projects because they have seen so many - Reinforcement of the social solidarity (creation of an internal credit system for women) 	
Communication volunteers / villagers	Needs
Broken French. The villagers know a bit of French too	<ul style="list-style-type: none"> - Hydraulic system - Restoring of the maternity - Electricity - Building of the road between Ndoucoumane and Touba Toul (14 kms)

FOCUS GROUP RESULTS 3

Identification	
Village ^o : DIEMODIO	Number of concessions ^o : 6
Rural Community ^o : Thi naba	Households: 35
Arrondissement ^o : Thi n ba	Population ^o : about 250 personnes (including 70 religious students)
Infrastructures	
<ul style="list-style-type: none"> - mosque - arabic school - storage building 	<ul style="list-style-type: none"> - 1 motorised pump for market-gardening (ASPRODEB) - 1 well for drinking water - 6 wells for market gardening, 3 are fonctionnal
Other intervening parties	Internal Organisations
<ul style="list-style-type: none"> - PROVERS (1996 to 1998) - ASPRODEB (2000) 	<ul style="list-style-type: none"> - 1 co-ed association, 45 members including 23 women who created a sub-group for economic developpement
Soils	Vegetation
<ul style="list-style-type: none"> - Sandy (mainly) - Clayey in the valley 	<ul style="list-style-type: none"> - A lot of vegetation in the valley - Depressed on the sandy soild - Esp ces dominantes^o: Kad, New, Mboul.
Cultures	Cattle
<ul style="list-style-type: none"> - Millet and peanut mainly - Manioc, bissap, watermelons - Market gardening 	<ul style="list-style-type: none"> - Very few animals (80 sheeps) - Way of breeding^o: keeping in sheds

Awareness of PROVERS

- Intervention from 1996 to 1998
- The village has had a few forestry activities before PROVERS
- Good knowledge of the several volunteers who came to the village

PROVERS Activities**Collective nursery**

1996°: 3000 plants

1997°: 4000 plants

1998°: 5000 plants

1999°: 3000 plants

2000°: 2000 plants

2001°: 0 plants (bad quality seeds)

Plantations

- Around the market garden (fruit trees and trees against the wind)
- Tree planting to create shed
- Average success rate°: < 30 % (because of the dryness and of the termites (white ants))

Hydraulic

- **Equipment** for well scouring

Market gardening

- Income :
 - 1997°: 1.000.000 F CFA
 - 1998°: 500.000 F CFA
 - 1999°: no water in the market garden s wells
 - 2000°: intervention ASPRODEB (building of a drilling well)
 - 2001°: Market gardening restarted thanks to the drilling well

Market gardening

Income :

- 1997°: 1.000.000 F CFA
- 1998°: 500.000 F CFA
- 1999°: no water in the market garden s wells
- 2000°: intervention ASPRODEB (building of a drilling well)
- 2001°: Market gardening restarted thanks to the drilling well

Training

- Tree planting technique : 1996 et 1997
- Grafting°: 1997 et 1996.

<p>Construction coranic school</p> <ul style="list-style-type: none"> • Involvement of the villagers: unqualified workforce • Involvement of the volunteers: equipment and qualified workforce <p>Poultry farming</p> <ul style="list-style-type: none"> • Hen roost entirely financed by a volunteer • 1st operation: 80 % of the chickens were lost • 2nd operation: 150 chickens plus the 60 from the 1st year; the laying of eggs started 2 months ago <p>Keeping bovines in shed</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1st operation: 5 animals financed by the volunteer (150.000 F / unit), 1 animal died; after the selling of the other animals the benefits were 500.000 F; this operation lasted 15 months. • 2nd operation: 2 animals that were taken care of by shepards, died because of an epidemic . <p>NO TRAINING ABOUT KEEPING BOVINES IN SHED FOR THE POPULATION</p>	
<p>Impacts</p> <ul style="list-style-type: none"> - Reduction of conflicts between farmers and animal breeders - More water - Developpement of market gardening - More income 	<p>Relationship with the volunteers</p> <ul style="list-style-type: none"> - Excellent relationships, volunteers well integrated in the village - Often sleep in the village - Individual credit given to some villagers because the onions crop was late - Diversification of activities due to the good relationships with volunteers (poultry)
<p>Communication</p> <ul style="list-style-type: none"> - Problems with the volunteers language skills: a bit of French, a bit of wolof, a lot of gestures - Sometimes the forestry agent has to translate, especially during the training activities 	<p>Needs</p> <ul style="list-style-type: none"> - Help with market gardening - Help with keeping animals in shed - Millet mil - Need for a water tank, water supply system

FOCUS GROUP RESULTS 4	
Identification	
Village°: TAWA FALL	Number of concessions°: 14
Rural Community°: Fand ne	Number of households°: 24
Arrondissement°: Keur Moussa	Population°: 340 in the year 1996
Infrastructures	
<ul style="list-style-type: none"> - 1 mosque - 1 clinic - 1 kindergarden 	<ul style="list-style-type: none"> - health hut (unequipped) - 5 wells - 1 collectice shop
Other intervening parties	Organisation Internes
<ul style="list-style-type: none"> - POVC - POVERS - ENSA 	<ul style="list-style-type: none"> - FED - Green Sahel
Sols	Vegetation
Mainly clayey-sandy	<ul style="list-style-type: none"> - Mango trees - Kadd
Cultures	Cattle
<ul style="list-style-type: none"> - Groundnut, manioc (mainly) - Millet - Ni b beans - Watermelons 	<p>Very few animals°: 3 bovines, 10 ovines, 60 caprines, 12 equines, 7 donkeys.</p> <p>Individual cattle</p>
Awareness of PROVERS	
<ul style="list-style-type: none"> - Intervention since 1996 - Good involvement in the activities initiated by the project 	
PROVERS Activit s	
<p>Village nursery 1997°: 10.000 plants 1998°: 11.000 plants Since 1999 , plants production was individual</p> <p>Plantations</p> <ul style="list-style-type: none"> - Eucalyptus and market gardening parcels - Good success for the fruit trees, which resisted better than Eucalyptus trees. <p>Hydraulics</p> <ul style="list-style-type: none"> - Digging of a well (labor force paid by the villagers°: 35.000 FCFA) <p>Training</p> <ul style="list-style-type: none"> - Nursery techniques - Plantation techniques - Grafting techniques - Improved ovens - Improvement of fertilization techniques, some were already known by the villagers - Techniques for producing anti-white ants chemicals from "neem" trees <p>Other activities</p> <ul style="list-style-type: none"> - Poultry farming - Collective shop - Storage building - Breeding and selling of animals in cooperation with ENSA 	
Impacts	Relationship with volunteers
<ul style="list-style-type: none"> - Rural depopulation stopped - Higher income - Acquiring of agricultural techniques - Better solidarity - Better organization - Diversification of activities and sources of income 	<ul style="list-style-type: none"> - Good integration - No communication problem - Shing s family came to Tawa Fall
Communication volontaire/villageois	Needs
	<ul style="list-style-type: none"> - Improvement of the water system

FOCUS GROUP RESULTS 5	
Identification	
Village*: NGOMENE	Number of concessions*: 40
Rural Community*: Keur Moussa	Number of households*: 60
Arrondissement*: Keur Moussa	Population*: 1200
Infrastructures	
<ul style="list-style-type: none"> - 1 mosque - 1 coranic school - 4 wells (3 functional) 	<ul style="list-style-type: none"> - 2 shops - 1 Women s House
Intervenants ext rieurs	Internal organisations
<ul style="list-style-type: none"> - UNICEF - Belgian Project (for the Women s House) - German project (for the digging of the well) 	<ul style="list-style-type: none"> - 1 Women s association - 1 Men s association - 1 Economic Developpement Group - 1 Youth Association
Soils	Vegetation
<ul style="list-style-type: none"> - Clayey 	<ul style="list-style-type: none"> - Mango trees - Eucalyptus - Prosopis - Kadd
Cultures	Cattle
<ul style="list-style-type: none"> - Millet - Manioc - Egg plant - Tomatoes - Gombo (local vegetable) 	<ul style="list-style-type: none"> - Horses - Beefs - Ovines - Caprines
Awareness of PROVERS	
<p>Since 1987 the village has a few forestry activities before PROVERS Good knowledge of the several volunteers who came to the village</p>	
PROVERS Activities	
Impacts	Relationship with volunteers
<ul style="list-style-type: none"> - Permitted the acquisition of a certain experience - Agro-forestry techniques, - Income 	<ul style="list-style-type: none"> - good integration of the volunteers - participation to the activities - sheered the house and the meals
Communication	Needs
Good communication	<ul style="list-style-type: none"> - Hydraulic - Strengthening the training activities - Health hut

FOCUS GROUP RESULTS 6	
Identification	
Village: Sindiane II	Number of concessions: 27
Rural Community: Touba Toul	Number of households: 41
Arrondissement: Thi naba	Population: 450
Infrastructures	
<ul style="list-style-type: none"> - 2 wells that are dry during the dry season - 1 mosque - Village under the influence of Touba Toul (less than 1 kilometer away) 	
Other intervening parties	Internal Organisation
- Red Cross (in Touba Toul)	- 1 Women s association for 3 villages (over 200 members)
Soils	Vegetation
<ul style="list-style-type: none"> - Clayey-sandy (100 %) 	<ul style="list-style-type: none"> - Quite well preserved, but aging - Main species: kad, soump
Cultures	Cattle
<ul style="list-style-type: none"> - Groundnut, millet, ni be beans 	<ul style="list-style-type: none"> - Bovines, ovines, caprines - Individual cattle
Awareness of PROVERS	
<ul style="list-style-type: none"> - Intervention from 1992 to 1994 - Villagers remember the volunteers. 	
PROVERS Activit s	
<p>Village nursery:</p> <ul style="list-style-type: none"> * 1992: 400 plants * 1993: 300 plants * 1994: abandoned <p>Plantation:</p> <ul style="list-style-type: none"> * 1992: village forest * 1993: second try to grow wood * 1994: stopped, success rate under 10% <p>Market gardening:</p> <p>obtained equipment in 1994 to scour the well, but it was stolen by the well sinker: reason why the intervention stopped in this village</p> <ul style="list-style-type: none"> * 1993: 27 000 FCFA * 1994: 64 000 FCFA <p>Activity abandonned in 94 (water shortage)</p> <p>Forestry exploitation:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1^{re} cut three years ago: 40 000 FCFA 2nd cut will happen in a few months 	
Impacts	Relationship with volunteers
<ul style="list-style-type: none"> - Knowledge as regars market gardening - Income from the wood hard to evaluate 	<ul style="list-style-type: none"> - Quite good - But the volunteers never spent the night in the village
Communication volunteers/villagers	Needs
<ul style="list-style-type: none"> - Very bad language skills, more gestures than words - Difficult to understand 	<ul style="list-style-type: none"> - Market gardening - Breeding of animals (to sell them) - Hydraulics - Millet

FOCUS GROUP RESULTS 7	
Identification	
Village°: Keur Matar FALL	Number of concessions°: 10
Rural community°: Thi naba	Number of households°: 20
Arrondissement°: Thi naba	Population°: 250
Infrastructures	
<ul style="list-style-type: none"> - 1 mosque - 3 wells 	- Chairs, bowls, nattes, etc... for the Women s association.
Other intervening parties	Internal Organisation
<ul style="list-style-type: none"> - PROVERS - Peace Corps - RODALE (market gardening) 	<ul style="list-style-type: none"> - 1 Women s association 30 members - 1 Youth association (17 members who take care of the market gardening activity)
Soils	V g tation
<ul style="list-style-type: none"> - Sandy - Valley soils (fertile) 	<ul style="list-style-type: none"> - Good condition - Kad, new
Cultures	Cattle
<ul style="list-style-type: none"> - Groundnut, millet - Individual parcels 	- Bovines, ovines, caprines
Awareness of PROVERS	
<ul style="list-style-type: none"> - Started in 1992 	
PROVERS Activities	
<p>Reforestation and nursery°: * 1992°: nursery (200 plants) et plantation of a village forest (1,5 hectare, unded by PRS = 400 000 FCFA) * 1993°: improved ovens</p> <p>Fruite tree planting 1994°: two types of fruit trees (°anacardier° and °soump°) Failure, due to the white ants. Advice°: developpement of a market gardening activity in the valley</p> <ul style="list-style-type: none"> - Success rate of the activities°: 40% 	
Impacts	Relationship with volunteers
<ul style="list-style-type: none"> - 1999°: 50 000 FCFA from the wood, micro-credit system, making of soap. This capital brought 25 000 FCFA (benefits) - Improved ovens have reduced the consumption of wood 	<ul style="list-style-type: none"> - Good, the volunteers gave money to the children
Communication	Needs
<ul style="list-style-type: none"> - Average wolof skills 	<ul style="list-style-type: none"> - Hydrolics system - Road Thi naba - Keur Matar FALL - Mill - Health hut - Electricity